

沖縄県保険医協会会員数
809名
(9月1日付 現勢)
全国保険医団体連合会会員数
107,306名
(9月1日付 現勢)

沖縄 保険医新聞

発行所 沖縄県保険医協会
〒902-0078 那覇市字識名1195-1
大城産業ビル106号
TEL (098) 832-7813
FAX (098) 832-4482
https://okinawa-hk.com
発行人 高嶺朝広
年間購読料1800円(会員の購読料は会費に含む)



協会事務所



推名 行夫

第33回 定期総会開催 コロナ禍の社会保障削減を許さず 会員850名の早期達成をめざす 2021年度活動方針を決定

8月28日(土)第33回定期総会を協会事務所とオンライン(ZOOM)で開催し、役員および会員など16人が参加、コロナ感染拡大防止のため、昨年に引き続き総会議事のみ執り行われた。

はじめに、山田副会長が進行役となり開会が宣言され、冒頭の会長挨拶では、今回退任となる仲里会長より、会長を務めた12年間の振り返り、1989年の協会設立時に137人の会員から始まり、今日まで大きく組織拡大してきた経緯や印象に残った研究会活動などの取り組みが述べられ、共に活動を支えた理事および会員に対し、御礼が述べられた。その後、座副会長より定期総会への祝電・メッセージが紹介され、代表で住江保団連会長のメッセージが披露された。

総会議事に移り、進行役の山田副会長が議長に選出され、議事が進められた。はじめに、樋口理事から1号議案の2020年度活動

および2号議案の2020年度決算について報告があり、3号議案の2020年度監査報告は監事の高原宣公認会計士から報告された。続いて高嶺副会長から4号議案の2021年度活動方針案、5号議案の2021年度予算案が提案された後、討論に移った。

討論では、協会事務所の移転、2021年度予算案、災害時に協会が被災した損失試算等について意見が出され、討論後に1号議案から5号議案までまとめて採択された。その後、6号議案の2021年度役員改選案が仲里会長から提案され、全会一致で採択された。新会長に高嶺朝広前副会長、新副会長に樋口豊前理事が選任され、2021年から理事を務めてきた喜納美津男理事が退任された。

最後に、照屋理事が総会決議案を読み上げ、全参加者の賛同により採択された。高嶺新会長からは在沖米軍普天間基地からのPFOS汚染水放出に対して、協会として抗議声明を提出することについて緊急提案がある

第33回 定期総会決議

国内における新型コロナウイルス感染症が全国各地に蔓延し、1年半以上が経過しようとしている。当初より長期戦を覚悟する必要があるとの指摘もあり、それを見越した対策が効果的に実行されてきたとは言い難い。政府のコロナ対策に不安と懸念が広がり、雇用の悪化、事業継続の困難をはじめ、国民生活のすべての分野において、緊急の対応が求められている。また新型コロナウイルス感染症拡大の医療機関への影響は、患者の受診抑制と国民生活の悪化で、医療機関は収入減となり、経営が深刻であることが明らかとなった。

政府は、公的責任を後退させる社会保障の理念の転換のもと、「全世代型社会保障」の実現を掲げ、「自助」を基本に全ての世代が相互に支え合う、あらゆる世代への負担増が計画されている。10月までには総選挙が行われるが、社会保障制度の政策転換の重要な機会と捉え、制度の充実、発展をめざし取り組みをすすめる。

沖縄県内では新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからず、5月23日から緊急事態宣言が継続中で全国ワーストの感染率で、憂慮すべき事態となっている。さらなる感染拡大を引き起こす可能性も高く、自粛解除の見通しが立っていない。このような中で協会は、沖縄県を往来する渡航者への水際対策の義務化、行政によるPCR検査の拡充、ワクチン接種の加速など、実効性のある対策を沖縄県に求め、要請懇談を繰り返し行ってきた。また米軍辺野古新基地建設では、選挙や県民投票で何度も示されてきた民意を無視し、工事が押し進められている。いま求められていることは、安心して日常生活が送れるよう新型コロナウイルス感染症防止対策とコロナ禍における社会経済活動の再構築である。

私たち沖縄県保険医協会は、保険医の生活と権利、国民の命と健康を守る医師、歯科医師の団体として、諸課題に全力で取り組むことを決議する。

記

- 一、新型コロナウイルス感染症により生じた医療機関の減収に対し、速やかに財政補填を行ない、感染症病床の確保、保健所機能の強化、PCR検査体制の拡充など、感染症対策に係る医療・公衆衛生体制の確保に努めること。
- 一、社会保障は国の責任で拡充すること。75歳以上の原則2割化など、新たな患者負担増計画は中止し、窓口負担を軽減すること。
- 一、地域医療構想に基づく病床削減計画は、地域の実情に即した医療提供体制とし、病床削減推進法案の見直しを行なうこと。
- 一、医療費総額を拡大し、初・再診料などの基本的技術料をはじめとする診療報酬を大幅に引き上げること。
- 一、保険医の裁量権を尊重し、保険診療の制限や萎縮を強いる審査、指導、監査はやめ、保険医の権利が守られるようすること。
- 一、子ども医療費助成制度を現物給付した市町村の国保庫補助金の削減(ペナルティ)は全て廃止し、18歳まで国の医療費無料制度を早期に創設すること。
- 一、原発の再稼働は止め、再生可能エネルギー政策への転換を進めること。
- 一、平和と憲法を守り、唯一の戦争被爆国として核兵器禁止条約に署名・批准すること。
- 一、普天間基地の運用停止と返還、辺野古新基地建設を中止すること。

以上、決議する。

2021年8月28日 沖縄県保険医協会第33回定期総会

医療運動 コーナー

新たな待合室キャンペーンがスタート 会員の皆様のご協力をお願いします クイズで考える私たちの医療

昨年10月から今年3月にかけて、医療政策や社会保障制度に対する理解を深めることを目的に、待合室キャンペーン懸賞付きクイズ「クイズで考える私たちの医療」に取り組みました。県内から過去最高の847通・186医療機関より応募があり、1等を含め10名の皆様が当選しました。全国では過去最高の11万3559通の応募がありました。ご協力をいただきました。ありがとうございます。



会員の皆様には8月下旬に新しいクイズハガキを郵送しています。前回同様にご協力をお願いします。患者さんやスタッフの皆様

にご協力をお願いします。追加希望の場合は郵送しますので、協会事務局までご連絡をお願いします。

り、全会一致で採択された。閉会の挨拶では山里理事より仲里前会長へ任期12年間の功績と感謝の意が述べ

られ、新役員体制の下、コロナ禍の厳しい社会環境の中、会員から頼りにされる保険医協会ならではの活動を一

層強め、早期に会員850名達成をめざし、協会の更なる発展を期待していると述べられ、終了した。

風 想定力

人生には三つの坂がある。上り坂、下り坂、そして「まさか」。

自分の経験をもとに、将来おこりうる「想定内」を決めつけがちな。コロナ禍での医療崩壊など、さまざまな「想定外」に直面している今、従来の既成概念にとらわれずに柔軟に考える力が試されている。「想定内」の範囲を広げるために重要なことの一つは「歴史に学ぶ」こと。感染症では、100年前のスペイン風邪など時間軸を延ばして歴史をひもとけば、想定範囲を広げるヒントが得られるはず。「賢者は歴史に学ぶ」。第二に、「幅広く他者の知見から学ぶ」こと。自分には見えていない世界が他人には見えているかもしれない。防疫と経済・社会機能を両立させるためにも、他者や他国の見えてくる世界の共有が重要であり、オンライン会議がなじみ深くなったのは幸いだ。第三に、「オプションを増やす」こと。想定外の事態への対応力を平時から高めるためには、複数の解決策を備えておくことが必要だ。「コロナ危機下での試行錯誤を経てオンラインはリアルな代替手段となってきたように、複数の代替案を日頃から準備しておく訓練は重要。オンラインが機能しなくなることも「想定内」とせねばならない。

抄論

「2025年問題」 ご存じかと思いますが2025年を境にさらに超高齢化が進むと予想される社会現象です。

昨今は、当協会でも高齢やご逝去により退会される方が少しずついらっしゃいます。一方で新規入会される50代以下の方もいらっしゃいます。全体の会員数はおかげ様で増加傾向にあり、今後もお役に立つ情報提供や各種セミナーの開催、有利で魅力的な共済保険・保険医年金のご用意など、会員の皆さんに「有意義な会」と感じていただける運営を目指したい所存です。

「2025年問題」 ご存じかと思いますが、理事会も徐々に高齢化が進んでおります。そろそろ世代交代を意識した新しいメンバーの応援が必要な状況です。保険医協会の活動は多岐にわたり、医療や保険診療に関する多様な事柄・雇用や人材育成に関する事柄・反戦平和や幸福に関する社会問題等もあつたります。医療や保険診療に関する事柄については、医師会・歯科医師会でも様々な活動がなされていると思います。日常診療と直接的関係のない事柄まで活動テーマに取り上げるには理由があります。それは、戦争がなく治安が安定した社会でこそ

良質な医療提供ができるからであり、全ての人が平等に医療を受ける権利を持つべきと考えるからであり、未来を託す子ども達の健全な成長と幸福を願うからです。その実現の為に「政治的活動」と言われる事柄もあるのだと私は理解しています。より良い社会のあり様を望むならば、国や地域の治め方を改善していく必要があります。とすれば治める人達、即ち政治家と一緒になつて改善を推進する必要があります。如何でしょうか。皆さんの中にも医療者という立場を超えて、一個人として何らかの問題意識を持た

れている方がいらっしゃるのではないのでしょうか。教育のこと・子育てのこと・コロナ禍に関すること・経済に関すること・環境問題・交通問題・未来のこと。テーマにしたい何かがあれば気軽にご連絡ください。他人任せでなく、一緒に考える機会を持つてみませんか。女性の観点から問題提起は特に歓迎します。いきなり「理事になつて！」は絶対にありません。まずは、オブザーバー参加してみても如何でしょうか。私も実はそのような流れで今に至っております。

会のため、皆のため、自らのために、少しの勇気？少しのやる気？と、少しの時間を割いても「いいよ」とお考えの方は是非是非！（協会事務局 098-832-7813）

沖縄協会の世代交代

理事 樋口 豊

市民公開講演会

口から覗いたミャンマー
歯科医師として、一人の人として

松本敏秀氏

8月5日（木）、福岡から歯科医師の松本敏秀先生をお招きし、「口から覗いたミャンマー・歯科医師として、一人の人として」の講演会を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大の為、オンラインのみでの開催となり、会員23名、非会員（他協会会員や一般申込み）15名、あわせて38名が参加した。

松本先生は、貧困や辺境地域などで医療に恵まれない状況にあるミャンマーの子どもや少数民族のために、歯科治療や予防歯科・保健衛生指導を2011年より無償で行ってこられたが、2020年に新型コロナウイルス感染症により活動の中断を余儀なくされた。そして、本年2月には軍事クーデターが勃発し講演の第一部では、ミャンマーでの先生の御活動について、第二部ではミャンマーの現状についてのお話を頂いた。

第一部では、疾病予防のための衛生活動等が紹介された。「歯ブラシ一本からの健康づくり」―自助努力ができるまで工夫をこらして継続支援され、「ミャンマーの問題は、ミャンマー人の手で解決する」スタンスが印象的だった。

前会長退任挨拶
仲里 尚実新任会長挨拶
高嶺 朝広

沖縄県保険医協会会長

2021年沖縄県保険医協会定期総会で会長に選出された高嶺朝広です。仲里前会長の元で副会長を12年務めさせて頂きました。仲

里前会長のたぐいまれな指導力によって沖縄県保険医協会は質・量ともに躍進した12年でした。

未曾有のコロナ禍にあり、なにかあっても不思議ではない「まさかの時代」に私は会長を引き継ぐことになりました。幸い仲里前会長と理事のほとんどが今期も一緒に活動して頂けることになり、未熟ではあるものの引き受けることとしました。

2019年に私が院長を務める病院が厚生労働省の共同指導を受けました。その時に保険医協会に親身に相談に乗ってもらい無事乗り切ることが出来ました。困ったとき・いざとなったときに保険医協会は頼りになる存在であることを私自身が体験し確信しました。まだ会員になっていない医師・歯科医師の皆様にも自信をもって加入を勧めたいと思います。今後、

12年間の会長職を終え、今回、高嶺朝広新会長にバトンタッチをいたしました。初代の山本達人会長（故人）の10年で出帆後の礎が築かれ、二代目照屋正信会長の10年で理事会の体制も確固としたものとなり、医科歯科それぞれが独自の活動を発展させました。

私が三代目の会長として就任した時も協会会員数は全国でも少ない方でしたが、理事の皆さんがそれぞれの得意分野での活動を押し進め、今年になり会員数も念願の800人を突破しました。

私自身は「保団連開業医宣言」を活動の基盤に置き、

また、保団連理事会、全国の多くの協会から連帯の活動とメッセージを頂き感謝しています。

高嶺新会長のもと、私も一理事として今まで通りの活動を継続し沖縄協会の発展に協力していきたいと思

役員改選

任期：2021年8月28日定期総会
～2023年定期総会まで

役職名	氏名
会長	高嶺 朝広
副会長	座 覇 修 好
副会長	樋口 豊
副会長	山田 護 望
理事	城 所 正 信
理事	照 屋 尚 実
理事	仲 里 和 利
理事	宮 良 将 進
顧問相談役	山 里 清 剛
顧問相談役	花 城 朝 啓
監事	吉 田 吉 夫
監事	玉 城 貞 之
監事	中 山 宣
事務局長	嵩 原 宣
	宮 城 みどり

新歯科部員（2021年7月～）

座 覇 守 弘（ざは歯科クリニック）

第189回保団連九州ブロック会議開催

コロナ感染拡大防止・九州豪雨被害救済が最優先
今秋の総選挙で投票を呼びかける運動を

8月22日、保団連九州ブ

ロック会議がオンライン

(ZOOM)で開催され、九

州各県から役員、事務局が

参加した。杉山議長(保団

連理事)の進行のもと、は

じめに三浦保団連副会長の

冒頭あいさつで、九州各地

での大雨・洪水やコロナ感

染拡大により命が脅かされ

ている状況について、これ

は天災ではなく事前の備え

も含めて政府の無為無策に

より引き起こされていると

指摘し、今秋実施される総

選挙で命、社会保障を守る

国政に変わる重要性を訴え

た。

情勢報告では、新井保団

連理事より九州豪雨被害状

況、コロナ感染拡大防止へ

の取り組み、金バラ「逆ザ

ヤ」解消に向けた厚労省要

請懇談、2022年診療報

酬改定に向けた取り組み、

広島

「黒い雨訴訟」談話、保団

連

組織状況等が報告された。

討論に入り、佐賀、長崎、

福岡歯科協会を中心に豪雨

被害の状況報告があり、各

協会からのコロナ感染拡大

状況報告では、在宅療養

(中等症以下)の政府方針撤

席し、沖縄県内のコロナ感

染拡大状況、その感染拡大

を防止する取り組みとして

水際対策強化、濃厚接触者

定義拡大による行政検査の

拡充を求め県庁要請を2回

実施したことを報告し、今

後の更なるパンデミックに

対応するため、入院待機者

を受け入れる大規模施設を

早急に準備、設置すること

が重要であると呼びかけた。

最後にブロックの課題に

ついて、指導問題等での九

州厚生局懇談、地域医療交

流会(長崎)、被爆体験者署

名(長崎)の協力依頼等の内

容を確認し、終了となった。

次回Web会議(ZOOM)

Mにて、10月31日(日)

12時30分~13時30分で開催

予定。

診療雑感 34

「新型コロナ感染症との闘い」

やまだクリニック 山田 護

新型コロナ感染症第5波

のため、沖縄は4度目の緊

急事態宣言下にある。私

は、昨年7月に脾臓の手術

を受けた。ちょうど、新型

コロナ感染症第2波の時期

であった。術後のリハビリ

は、個室の病室内か無人の

階段を使ったものであった。

お陰様で9月初旬から段階

的に診療に復帰して10月か

らは通常診療に戻すことが

できた。コロナによる受診

控えや私の不在による不安

からか、この間の医業収入

は激減し、年間1000万

円を超える減収となった。

しかし、今年になって患

者さんの受診動態は例年通

りに戻った感がある。私は

糖尿病・高血圧症などの慢

性生活習慣病に対しては、

1か月おきの受診を勧めて

きた。発熱患者さんは、屋

外に設置したテントでの診

察を行い、感染対策を十分

行っているで安心して院

内で診察を受けるようにお

話したこと、患者さん側

も「コロナ慣れ」したこと

も要因と考えられる。

新型コロナ感染症に対し

ては、今年3月までの1年

間、北部地区医師会での発

熱・PCR外来に協力する

とともに、唾液によるPCR

R検査をOISTに依頼、

4月からは自院でのPCR

検査ができるようになった。

また、集団予防接種が始

まり、土曜日や日曜日は協

力を行っている。4月末か

らいち早く自院での個別接

種も開始した。8月までは

週に108名の接種を行っ

ているが、9月から週13

2名に増やす予定である。

この1年半にわたり、新

型コロナ感染症パンデミッ

クは我々の日常診療にも大

きな影響を与えてきた。患

者さんの受診控え、基礎疾

患のコントロール悪化、経

営状態の悪化などである。

より多くの住民に早くワク

チン接種を進め、感染の抑

制、重症化予防を図ってい

くとともに、糖尿病などの

基礎疾患のコントロールを

よくしていくことが、万が一

罹患した場合の重症化を防

ぐことになると考えている。

それが日常診療を取り戻す

ことにつながるだろう。

県知事要請 第2弾

新型コロナウイルス行政検査拡充の緊急提言

濃厚接触者の定義を広げ、
行政検査の大幅な拡充を求める

先月16日に新型コロナウイルス水際

対策強化を求めて行った県

知事要請懇談に引き続き、

8月11日、県庁1階臨時応

接ブースにて行政検査拡充

を求める県知事要請懇談を

行った。県からは糸数公医

療技監が対応し、徳田安春

先生(群星沖縄臨床研修セン

ター長)、仲里尚実先生(協

会会長)、高嶺朝広先生(協

会副会長)、山里将進先生

(協会理事)が参加した。

懇談冒頭、仲里会長から

「沖縄県における新型コロナ

ウイルス行政検査拡充の

緊急提言書」を糸数医療技

監に手交し、今回の緊急提

言3項目①行政検査対象の

濃厚接触者定義の拡大(室

外の場合、1m以内で15分

以上の接触、室内の場合、

4方が壁に囲まれたスパー

ス(面積100㎡高さ10m

以内)で距離関係なく15分

以上の接触※室内外ともに

マスク着用は不問)、②保

健所機能強化のため、特別

予算措置で臨時職員雇用に

よる接触者追跡を拡大す

る、③行政検査は原則とし

てプール式としてコストダ

ウンをはかり、検査体制を

拡張するためにOISTや

AVSSにも依頼すること

を要請した。

懇談では、徳田先生から

提言の趣旨説明があり、あ

わせて無症状感染者を早期

発見し隔離するための職域

学校等でのスクリーニング検

査強化、入院待機患者をタ

リング施設等の整備など、感

染拡大防止には多面的な施

策が必要であると述べた。高

嶺副会長は透析患者のコロナ

陽性者が入院できない事例

に言及し、患者の送迎および

移動等による感染防止対策

が大きな課題になっていると

述べ、その課題解消に向け県

の協力を仰いだ。また、山里

理事はコロナ患者の在宅療養

は原則禁忌だとして、入院、

宿泊施設を含めてコロナ患者

の隔離およびケアが徹底でき

るような仕組みづくりを要

請した。

最後に、糸数医療技監から

今回の提言に対し、濃厚

接触者定義拡大および行政

検査の拡充については国立

感染症研究所とも相談しな

がら検討していきたいとの

発言があり、それ以外の要

請についても、現在県で進

めている施策を着実に実施

していくことで改善が図ら

れるとの認識を示し、懇談

終了となった。

今回も多くのマスコミが

要請懇談の取材に訪れ、テ

レビ、新聞等で懇談内容が

大きく報道された。(緊急

提言書は協会ホームページ

に掲載)

第4回 非核平和部会

お盆ウィークの8月22

日、非核平和部会にWeb

参加した。コロナ禍により

反核平和活動が中止・延期・

Web限定となる状況下、

中心議題はやはり「核禁止

条約」(本年1月、国連にて

発効)関連である。

日本政府に対して、「核

禁止条約」に参加・署名・

批准を求める意見書の採択

が増えている。7月20日現

在、全国1788自治体の

33%が意見書を採択、沖縄

県でも約30%(12自治体)

が採択している。当協会では、

沖縄県の全ての政治家

に対して「無差別殺りく兵

器と核禁止条約に関する公

開質問」を行っており、結

果は公表予定である。

ほぼ全ての人が核兵器廃

絶に肯定的であるにもか

かわらず、未だゴールが見え

ない状況だからこそ、世界

唯一の戦争被爆国の役割を

果たすべく国民世論も高め

たい。少なくとも「核の先

制不使用」を表明する米国

の意向を妨げる日本政府に

は、熱気ある世論で「NO」

を突き付けたい。

参考までに第49回保団連

定期大会で議決された基本

要求を抜粋してお伝えす

る。①平和と民主主義を謳

った日本国憲法の理念を守

ること。②国際紛争に対し

ては、非軍事による復興・

人道支援を行うこと。③核

保有国が「核兵器禁止条約」

を批准するための活動を推

進すること。④広島・長崎

の被爆者団体と政府が合意

している「原爆症認定集団

訴訟の終結に関する基本方

針に係る確証書」にもとづ

いて、全ての裁判を早急な

解決をはかること。⑤不平

等な日米地位協定を見直

し、国の主権を守ること。

全国の米軍基地強化をや

め、整理縮小をめざすこ

と。

理事 樋口 豊

「診療雑感」コーナーの原稿募集中!!

日常診療での出来事、感じていることなどを
記事にしてみませんか。ご執筆して頂いた会
員には、フオカード3千円分を贈呈します!
ご応募をお待ちしております。
※FAXまたはお電話にて協会事務局までご連絡
下さい。



糸数公医療技監に要請書を手交する仲里会長



取材の様子

文書発言

指導監査の現況は今までに比すればまだまとも

代議員 座覇 修好

現在コロナ禍ということと通常の病院の適時調査や、平均点数が高点数で継続することによる個別指導は実施されていない。このことだけでもとだけの現場から安堵の声があるかわからな

の重箱の隅を楊枝でほじくするような適時調査を臆面もなく繰り返す、この国の行政は、黙すれば徹底した理不尽な経済制裁を医療機関へと課してきた。このような労働の対価をいともたやすく返還させるような慣習をやめさせるべきである。厚労省交渉にてそれを言う対案を求められるようだが、指導大綱要領自体がそもそも国民への医療サービスを阻害するものである。それが我々の使命である。

今後のパンデミックおよび新型コロナウイルス感染に対する情報発信について

代議員 座覇 修好

あらためてパンデミックの中、医療の最前線で立ち向かう医療従事者の皆さんへ敬意を表します。さて今回は時間的な余裕もなく、短期間の検証でファイザー、モデルナ、アストラゼネカなどのワクチン接種を緊急避難的に行ってきた。今後新型コロナウイルスの変異株との戦いに合わせて様々な検証が行われる。もうすでにHIV発見者ノーベル賞学者のリュックモンタニや、世界的なワクチン接種に携わってきたギアットバンデンボッシらが、今後の抗体依存性感染増強

抗体を発見。ヒト抗体のF C受容体部分と全く異なつた機序で感染増強が行われている点が注目される。また一方で2016年にイギリス政府が委託した「オニールレポート」によると薬剤耐性菌の放置により2050年には世界で主要国、途上国の関係なく、年間1000万人もの死者を出すという不気味なパンデミックの予測があり、すでにコロナ耐性、カルパペム系抗生剤が無効の耐性菌でND

この本に教わった ⑰

「夜が暗いとはかぎらない」

寺地はるな 著 ポプラ社

大阪の小さな町にある古い商店街「あかつきマーケット」。十数件の店が集まり、真ん中に広場があるちよつと変わった商店街です。時代の波に流され、あと一年で終わりを迎えることになりました。そんなあるとき、マーケットのマスケット着ぐるみの「あかつきんさん」がいつもの場所から消えて行方不明になります。その後、あかつきんさんは、町のあちこちに出没し、困っている人を助けたり、子どもに飴を配ったりします。町では、「あかつきんさん」が話題となります。目撃情報SNSで流され、「あかつきんさんの尻尾に触ると幸せになる」と

いや親切や優しいことばに助けられ、またその人が別の誰かの支えになる。そんなお話が続いていきます。近くに住む初孫の世話をすのおばあちゃん。孫は言葉あまり話さず、感情もあまり表しません。おばあちゃんはそのことを心配しています。息子の妻である亜子さんには話せません。あるとき「息子の小さい頃とはちがうわ」と深い意味もなく言つたとき、亜子さんが顔をこわばらせ「人間だから、ちがつて当たり前でしょう」と怒つてしまつたことがあったからです。実は、おばあちゃんも同じ悩みを持ちながら、子育てをした経験がありました。お互い、成長が遅い、他の子とちがうという周囲の視線に悩みなが、打ち解けられずにいたのです。そんな二人が、あるとき孫がみせた優し

「心にはよいのよ、きつと。」
このような、「夜が暗いとはかぎらない」さりげないお話が、紡がれていきます。

オリブ山病院 横田 泉



医療安全管理講習会

『最近の医療機関へのクレームの特徴とその対応法を身につける』

講師：尾内 康彦氏

（医療法人浩仁会南堺病院事務部顧問）

日時：10月3日（日）午後2時～4時

会場：沖縄県市町村自治会館4階会議室

会場定員 先着30名（※参加人数2名まで）

・会場参加希望はFAX、ZOOMウェビナー参加希望はメールにて受付中。

共済部だより

休業されたらすぐに協会にご連絡を！

2021年8月度休業保障共済保険給付実績

	口数	入院	自宅療養	給付金額
A先生	5口	2日	8日	320,000円
B先生	5口	15日	9日	870,000円
C先生	5口	0日	30日	900,000円

開業・就業状況、住所変更、勤務先変更などがありましたら、速やかに協会事務局（☎098-832-7813）にご連絡下さい。

会員紹介推進キャンペーン

未入会の先生を紹介しご入会頂くとクオカード3,000円分を贈呈！
是非、友人・ご子息等お知り合いの先生をご紹介下さい！

※FAXまたはお電話にて協会事務局までご連絡下さい。
FAX:098-832-4482 TEL:098-832-7813

2021年度 病院適時調査「自己点検」により実施
実施通知は8月から順次発送

病院を対象に実施される適時調査について、厚労省は、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に引き続き、2021年度は実地での調査は原則中止し、届出施設基準の「自己点検」を行なうことで実施したものとみなす方針を示している。九州厚生局は、この「自己点検」の取り扱いについてホームページに公表している。取り扱いは下記のとおり。

●病院による届出施設基準の自己点検について

令和3年度については、定例報告の各種様式と一緒に提出していただく「施設基準の届出の確認（報告）」のほか、適時調査において重点的に調査を行なっている施設基準について、別途連絡する自己点検結果報告書に基づき全ての病院が自ら令和3年7月1日現在で届出要件を満たしているか否かを確認し、自己点検結果報告書を提出することにより適時調査を実施したものとみなす取り扱いとなります。

実施に関する通知は、各県事務所より順次発出される予定。また報告書の提出期限は、各県事務所において案内時期等を計画して実施する関係で、病院によって案内時期や提出期限が相違することがある。全ての病院が対象となり、コロナ収束後の適時調査で返還事案が発生した場合の遡及は、原則当該自主点検を行なった時点までとされているため、ご留意いただきたい。